

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 8 月 24 日 (2006.8.24)

【公開番号】特開 2004-101168 (P2004-101168A)
 【公開日】平成 16 年 4 月 2 日 (2004.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-013
 【出願番号】特願 2003-195667 (P2003-195667)
 【国際特許分類】

F 2 8 F 1/00 (2006.01)

F 2 8 F 1/36 (2006.01)

【F I】

F 2 8 F 1/00 C

F 2 8 F 1/36 C

F 2 8 F 1/36 D

F 2 8 F 1/36 F

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 7 月 7 日 (2006.7.7)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】請求項 10
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【請求項 10】 樹脂被膜層及び／又は樹脂製の外周フィンは、カーボンナノファイバーを含有させた事を特徴とする請求項 1、2、3、4、5 又は 8 の耐食性を有する伝熱管。

【手続補正 2】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0053
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0053】

また、図 7 に示す第 7 実施例では、アルミ管を使用した細径金属管(1)の外表面に、亜鉛メッキ及びクロメート被膜の 2 層から成る防食メッキ層(2)を形成するとともにこの防食メッキ層(2)の外周面に、金属との密着性に優れた PA12 製の第 1 層(14)を設け、この PA12 製の第 1 層(14)の外周面に耐水性や耐薬品性に優れた PP 製の第 2 層(15)をコーティングし、2 層構造の樹脂被膜層(3)としている。そして、この 2 層の樹脂被膜層(3)の肉厚を 100 μ m ~ 1 mm とする事で、耐水性や耐薬品性、及び耐衝撃性が高く、且つ熱伝導性を損なう事のないものとなる。この 2 層構造の樹脂の組み合わせは、上記 PA / PP の他にも、PA / PA、PP / PP、PA / PE 等が挙げられる。また、3 層以上の樹脂被膜層(3)としても良い。